



虫も泥も「気にしない」

快晴の土曜日、千葉県木更津市の「農業公園ぼんぼり村」に親子連れが集まった。有機肥料を配合し農薬を使わない農業を体験できる施設で、旅行会社「アドサン」(同市)の直営だ。

経営者の三上徳康さんが、市の子ども会に関わるうちに食物アレルギーを持つ子に出会い「本物を食べさせてあげたい」と考えたのが取り組みのきっかけだといふ。

子どももら有機農法体験



真剣な表情でハクサイの苗に土をかける親子=東京都港区の「子育てひろば『あい・ぼーと』」

「小さくてもくぐらんでいたら甘いよ」と三上さんの一声でサツマイモ掘りが始まった。土からは虫やカエルも出てきて、緊張で黙っていた子も「おっきいの取ってやる!」「モグラさんが掘ればいいの!」とよく話すようになり、泥だらけになっていた。

わが子を見守っていた川崎市の仁科繁さんは「農業を使っているから何を触っても大丈夫。安心して遊ばせています」と目を細める。三上さんも「小さいうちに、調味料のいらぬ野菜本来の味を覚えてほしい」と話していた。

このような活動は都市部でも広がっている。東京都港区のNPO法人「あい・ぼーとステーション」が区の支援を受けながら運営する「子育てひろば『あい・ぼーと』」では、有機野菜の植え付けから収穫までを体験できる。社会園芸学科のある恵泉女学園大学とともに企画した講座だ。

この日は、以前まいたハ



孔子に学ぶ 育児の極意

子育ての極意を、孔子の教えを記した「論語」の29の名言から学ぶ。

「仁」という思いやりの気持ちを呼び起こして子どもに与えること。巧言令色に惑わされず、人の内面を見ていくこと。「文、行、忠、信」を通して、バランスのよい

安岡定子著

子育ての極意を、孔子の教えを記した「論語」の29の名言から学ぶ。

「仁」という思いやりの気持ちを呼び起こして子どもに与えること。巧言令色に惑わされず、人の内面を見ていくこと。「文、行、忠、信」を通して、バランスのよい

500円

PHP研究所・10

「子育て論語塾―折れない心、やさしい心をはぐくむ」

動物を愛する心を育もうと、小学生を対象した獣医師体験イベントが、東京都千代田区の東京国際フォーラムで開かれた。

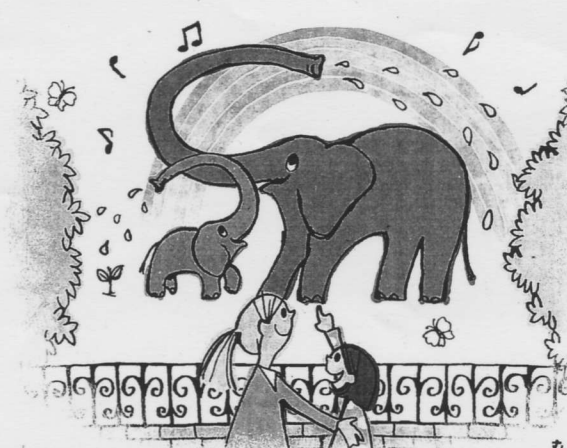
「風邪をひくと、お医者さんが子供向け体験プログラムを集めた「丸の内キッズジャンボリー」の催しの一つで、児童が白

動物を愛する心を育む

「本物のワンちゃんに触れられてうれしい。獣医師さんの仕事は大変なんだなと思いました」と参加した小学5年の女子児童。薬のつけ方や体重のはかり方などを教えた獣医師の佐藤賀宜さんは「すぐ熱心に話を聞いてくれた。動物を愛護する気持ちを養うきっかけになるとうれしい」と話した。

母子の結びつき、8小節に

まど・みちお 「ぞうさん」



イラスト・LINEN

一般的にいつて日本の芸術歌曲は、童謡つくりにはじまったともいえません。そのさきがけが、1918(大正7)年創刊の童謡雑誌「赤い鳥」。有名な「この道」「かなりや」も、この雑誌で発表された作品です。まどみちおもこのような雑誌に投稿し、認められました。

「ぞうさん」は52(昭和27)年、NHKラジオ「うたのおぼえさん」で発表されました。まどみちおの詩集は皇后さまの英語訳と安野光雅さんの絵で絵本になり出版され、国際的に広まっています。

(作曲家・服部公一)

子どもから大人まで、幅広く親しまれる童謡の数々。服部公一さんが戦後に生まれた作品を中心に、その魅力の秘密を分かりやすく紹介します。

はっとり・こいつち 33 年山形市生まれ。管弦楽曲やミュージカル、童謡などを幅広く作曲。校歌を手掛けた学校は、150校を超える。

再発見♪ 子どものうた

今年104歳になるまどみちおさん。いま最も長命な日本を代表する詩人であり、日本芸術院賞、国際アンデルセン賞などを多数受けておられる大家です。この詩人とオペラ「夕鶴」などで世界的に知られる作曲家・故園伊政磨さんによるたった8小節の「ぞうさん」は、最高の名曲童謡だと思います。

この作品は日本で最も短い歌の一つですが、母子の心の結びつきがこ

れほど簡潔に表現されている歌詞は、ほかにないでしょう。私の経験から言って、8小節の音楽は80小節の作品の何十倍も作曲が難しいのです。

世界中で、日本ほどた

くさん現代童謡がつくら

れている国はありません。

外国の楽譜屋でその

国の現代童謡作品集を探

しても、そのような楽譜

はほとんど市販されては

いないのでめったに見つ

かりませんが、日本では

本屋に行けばすぐ見つか